



Royal Retaliation

エルトン・ジョンら6人と共同提訴

ヘンリー王子がプライバシー侵害でタブロイド紙を訴え

英国のヘンリー王子（通称ハリー王子）が、エルトン・ジョンら6人の著名人とともに、ゴシップ紙をプライバシーの侵害で共同提訴。王子自らが原告の1人として予備審問に出廷した。

故ダイアナ元妃の事故死の例のように、英国のパパラッチの取材攻勢にはすさまじいものがあるが、訴えられたタブロイド紙側は、謝罪した社もあれば全面否定しているところもある。さて、裁判の行方は？

マックス・フォスター記者の
発音と話し方の特徴



イギリス英語

速さ:★★★☆☆ 発音:★★★☆☆

語彙:★★★☆☆ 総合:★★★☆☆

[★聞き取りやすい↔★★★★難しい]

ナチュラルスピードよりややゆっくりめだが、固有名詞の多出やclaimantなどの法律用語は消化しにくい。また、explosiveの第1音節を[iks-]ではなく[eks-]、whileの代わりにwhilstを用いる点などにイギリス英語の特徴が見られる。

*今月号は、キーワード、ゆっくりスピードとも、イギリス英語で収録しています



キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう



☐ sue	[sʊ:]	～を訴える、告訴する、提訴する
☐ privacy breach	[ˈprɪvəsi]	プライバシーの侵害
☐ lawsuit	[ˈlɔ:sju:t]	訴訟
☐ showdown	[ˈʃəʊdaʊn]	最終的な対決、決着
☐ abhorrent	[əbˈhɔ:rənt]	嫌悪すべき、忌まわしい
☐ claimant	[kleɪmənt]	原告
☐ smear	[smiə]	中傷、名誉毀損(きそん)、誹謗(ひぼう)、悪口
☐ media scrutiny	[skrú:təni]	メディアによる取材攻勢
☐ blight	[blaɪt]	～を破壊する、駄目にする
☐ reprehensible	[rəˈprihənsəbəl]	(全く)非難されるべき、ふらちな、けしからぬ

ヘンリー王子自ら原告として出廷

Prince Harry showed up for a second day of court in London, where he's one of a group of celebrities and others ^① suing a British publisher and accusing it of privacy breaches. // CNN's Max Foster breaks it down/ and tells us what the lawsuit is all about. //

* * *

^② Prince Harry leaving London's High Court after a second day of hearings, the lawsuit shaping up to be another explosive showdown between the royal and a media outlet. // Harry and six other high-profile figures accuse the publisher of the *Daily Mail* newspaper of "abhorrent criminal activity and gross breaches of privacy" in its efforts to report on them. //



ロンドンの高等法院の予備審問に出廷したヘンリー王子(上の左)とエルトン・ジョン氏(下)

retaliation:

《タイトル》復讐(ふくしゅう)、仕返し

show up:

姿を現す

court:

①裁判 ②法廷、裁判所

celebrity:

有名人、著名人

sue:

～を訴える、告訴する、提訴する

publisher:

発行元、出版社、新聞社

accuse A of B:

AをBの理由で非難する、訴える ▶Bには動名詞がくるときもある。

privacy breach:

プライバシーの侵害

▶breach of privacyとも。

break...down:

…をかみ砕いて説明する

lawsuit:

訴訟

be all about:

要は～である

(the) High Court (of Justice):

《英国》高等法院

hearing:

審問、審理

(be) shaping up to be:

～になりそうである、なりつつある

explosive:

一触即発の

showdown:

最終的な対決、決着

royal:

①王族の人

②王族の、王室の

media outlet:

報道機関、メディア企業

high-profile figure:

有名人

the *Daily Mail*:

▶英国のタブロイド判日刊大衆紙。

abhorrent:

嫌悪すべき、忌まわしい

criminal activity:

犯罪活動、犯罪行動

gross:

〈罪などが〉目に余る、甚だしい

ニュース1では、スラッシュリーディングおよびスラッシュリスニングの参考として、情報・意味のまとまりごとにスラッシュ(/)を入れています

ヘンリー王子が(前日に続き審問の)2日目も、ロンドンの裁判所に
出廷しました/ 王子は著名人など
からなる一団(原告団)の1人で
す/ 英国の出版社を提訴し、プライ
バシーの侵害を訴えている(一団
の)。// CNNのマックス・フォスタ
ー記者が詳しく/ 訴訟の概要をお
伝えます。//

* * *

ヘンリー王子が審問の2日目を終
え、ロンドンの高等法院を後にしま
す/ 訴訟は、またしても一触即発の
対決の様相を呈しています/ 王子
とメディア企業の間。// ヘンリー
王子および他の6人の著名人は
「デイリー・メール」紙の発行元を
訴えています/ 「忌まわしい犯罪行
為と、甚だしいプライバシーの侵
害」を行ったとして/ 彼らのことを
報道しようとするにあたって。//

理解のポイント

≫ ①のsuingとaccusingは現在分詞。
下線部は後ろからa group of celebrities
and othersを修飾している。

≫ ②のように、〈主語+述語動詞〉の代わ
りに〈意味上の主語+現在・過去分詞〉の
形でつなげていく、簡潔かつスピーディー
な文のスタイルは、報道などで好まれる。
完全な文の形で理解したい場合は、(This
is) Prince Harry leaving London's
High Court...hearings, (and) the
lawsuit (is) shaping up to be...と語を補
って考えるとよい。
(p.70)

≫ ③はbeingが省略された独立分詞構
文。he and filmmaker-husband David
Furnish also (being) claimants...とい
うこと。